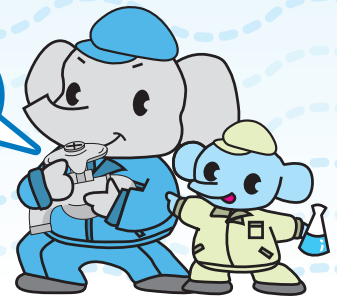


水道の泉

せんたく洗濯のお話



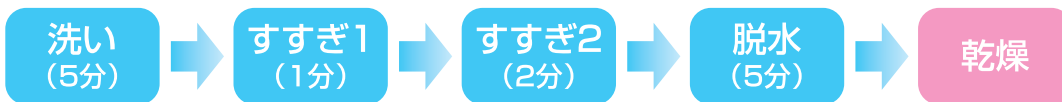
水道豆知識 vol.21 〈風呂の残り湯で洗濯編〉

風呂の残り湯を洗濯に使い洗濯物を干すと、不快な臭いが出る場合があります。臭いの元となっているのは、表面に付いた細菌などであることから、残り湯の使い方や洗濯物の干し方に原因があります。



実験スタート

テスト用布を使い、次の工程で洗濯



実験内容	残り湯、水道水の使用状況			
	すべて残り湯	すすぎ2のみ水道水	すべてのすすぎに水道水	すべて水道水
実験① すすぎ水中の一般細菌 (残り湯と比較)	変化なし	10分の1減少	1万分の1減少	1万分の1減少
※水道水のすすぎで減少が見られました。				
実験② 脱水直後の一般細菌 (残り湯と比較)	変化なし	10分の1減少	1万分の1減少	1万分の1減少
※実験①すすぎ水中の一般細菌と変化なし。				
実験③ 乾燥後の一般細菌 (脱水直後と比較)	屋外乾燥	不活性化	不活性化	不活性化
	室内乾燥	10分の1程度	100分の1程度	検出されず



実験結果

- ・洗濯に使った水にかかわらず、太陽光に当て乾燥させることで、ほぼすべての一般細菌が不活性化されました。
- ・室内乾燥の場合には、水道水によるすすぎが不可欠であることがわかり、水道水（塩素）による洗浄効果が証明されました。



限られた水資源を有効に利用することは大切であり、その取り組みは推進していかなければなりません。しかし、その結果、衛生的な生活が失われることがあってはなりません。

風呂の残り湯での洗濯は、水道水に含まれる塩素の効果を理解していただき、状況に応じた水の使い分けが必要になります。

出典：水道産業新聞 平成21年2月19日